

流域の未来は広域連携が鍵を握る！ ＜阿賀野川エコミュージアム会議＞スタート！

フォーラム開催の数日前に、これまで交流を重ねてきた流域の多様な団体が集まり、新潟水俣病に向き合い乗り越える「阿賀野川エコミュージアム構想」の実現を目指して、「阿賀野川エコミュージアム会議」を立ち上げ、フォーラム当日に皆さんにお披露目しました。

参加団体

学校法人日本自然環境専門学校、松浜内水面漁業協同組合、横越漁業組合、咲花温泉観光協会、巢本地区農業グループ、阿賀野市、(有)小田製陶所、神田酪農、丸三安田瓦工業(株)、NPO法人里山クリーン新潟、一般社団法人五頭自然学校、一般社団法人あがのがわ環境学舎、阿賀町、麒麟山温泉、角神温泉、かのせ温泉、津川温泉、道の駅「阿賀の里」、阿賀町農家民宿郷土食研究グループ、NPO法人お山の森の木の学校、一般社団法人里山げんき倶楽部、マンマベントなど多数

流域の参加希望団体は環境学舎まで！



第2部 阿賀野川流域の大河と大地の恵みを語る

～ 豪華な粗食“芽吹き”を食べながら ～



参加者の主な感想等

- 食の学びという観点から、ただ食事を出すのではなく一品一品説明をしながらお客様に味わっていただくスタイルも大事だと良く分かった。地域の地元の特産物を出す所が良かった。(50代・江南区)
- 山海の珍味組合せは格別な味。「豪華な粗食」という名前にも真似できない楽しさがあり良かった。(70代・阿賀野市)
- 「豪華な粗食」は名前だけだ？だが、説明を聞いて納得。「田舎」と「都会」を食でつなげられたら良い。(60代・東区)

特集 2

流域の過去の光と影に向き合う、流域の今の強みを知る、流域の未来を考えるために。

阿賀野川エコミュージアム 第3回 を目指す流域再生フォーラム

1年間の流域再生の取組を振り返る、年度末恒例のフォーラム。今年は3月25日に道の駅「阿賀の里」にて開催し、直前の広報にも関わらず、大勢の方々からご参加いただきました。今号ではその様子をレポートします！

開催レポート！

第1部 阿賀野川流域各地の様々な取組を知る

～ 北宝隊・咲花温泉観光協会・マンマベントなどから発表いただきました ～



参加者の主な感想等

- 最近松浜に疎遠なので「松浜のまち歩き」をしてみたいと思った。松浜の町をもっと知りたいと感じた。(60代・東区)
- 新潟水俣病が発生した流域に向き合うため立ちあがり、水害に負けず取り組んだ咲花は素晴らしい。(70代・阿賀野市)
- マンマベントの食事こそ身近だが、そこでしか食べられない品々だ。独自性を出し方・見せ方の大切さを感じた。(70代)
- 流域全体の一本化に努力して、すばらしい自然環境を取り戻す出発点に到達できたことに感動した。(70代・阿賀野市)